

社友会だより

第 50 号

発行 センツウ社友会

住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 4-27-19

〒233-0006 大和田輝彦 内

編集者 濱田 治

年頭にあたって

社友会会長 本田太作

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましてはお健やかに新しいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、いろいろな行事にご協力を賜り感謝申し上げます。



国際社会では、いろいろと出来てきました。何とんでもアメリカ大統領選でトランプ氏が当選し、トランプショックと言いますかアメリカ

第一主義で不利益は断固廃止すると声高らかに宣言しており、我が国に対する経済、外交はどうなるのでしょうか。

欧州ではイギリスのEUからの離脱また、世界が注目した韓国大統領の弾劾訴追案が可決し政治不安が続いております。

国内では、東京都知事選において小池氏が当選し市場の豊洲への移転問題、都政改革、五輪会場見直しと精力的に動き回っております。

さて、センツウ社友会は今年30周年と記念すべき年を迎え、何とか活性化を図る方法はないものか、皆様方と共に「今後の社友会の在り方」について考えて行かねばなりません。皆様方のさらなるご協力をお願い致します。

末筆ながら皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

センツウ同窓の集い

全国で盛大に開催

第 8 回となる「センツウ同窓の集い」が平成 28 年 11 月 26 日～12 月 3 日に全国各地に於いて盛大に開催されました。

今年は全国 5 地区で 100 名が参加されました。開催日順に各地の開催模様を紹介します。

中部地区

平成28年11月26日12:00時より第8回「センツウ同窓の集い」を名古屋駅金山ホテル 旅籠茶家「かやかや」にて開催しました。

5月、下呂温泉旅行以来6ヶ月振りの再会で参加者は仕事の関係、体調不良と常連の3名は参加できず残念ながら14名となりました。

支部長から、皆さん元気で参加の謝意と最近の社友会の状況を簡単な報告があり開会の挨拶後、始めに奥田事務局長よ

り佐藤さんが逝去されたご冥福をお祈りします旨告げた後、支部活動の実況報告と、



今後の活動計画の発表があり、続いて次期平成29年度の中部支部長に戸田氏を推薦することに全会一致で決定し本部に報告することとしました。

戸田さんからは強いお言葉を頂き、また来年の一泊懇親旅行は5月19～20日北陸芦原温泉に決定しました。

開宴は戸田さんから、佐藤様の安らかなご冥福と皆様のご健勝を祈念しまして献杯の音頭で開宴となり、現役、OBともに同じ釜のメシを食べた職場での想いでや楽しかったこと、苦しかったこと交互に続出し和気あいあいの中でやっぱり健康問題の話が一番多かったように感じました。



時間が経つのが早いものアツという間に予定の時間2時間が瞬時に過ぎてお開きとなり元気で再会を約し散会となりました。

今回佐竹さんの喜寿のお祝いを兼ね色紙に各自がお祝の言葉で寄せ書きを贈呈しました。散会后4名の方は佐藤家へ弔問に訪問されました。

レポーター 本田太作さん

東北地区

平成28年12月2日、昨年に引き続き仙台市青葉区の「茜どき」に東北地区在住のOB、現役総勢10名が参集し同窓の集いが開催されました。

伊藤さんの乾杯のご発声により開宴、現在のアルバイト(シルバー人材、コンビニ等々)の話題や、趣味の囲碁、釣りなどの話題で大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。



お開きの後、恒例となったカラオケに流れ、ここでも大いに盛り上がり記憶をなくすほど飲みました。

また、これも例年とおり、飲み足りない人は、塩釜営業所時代の現地のスナックで翌朝の電車の始発

まで歌って(無料で寝ていた人も)いたそうです。懲りない面々ですね。

レポーター 佐藤健二さん

中央地区

平成28年12月3日(土)12時より、東京港区のメルパーク東京に於いて、「センツウ同窓の集い」がOB、現役合わせて38名の参加を得て開催された。集合写真の撮影後、司会進行役の鏡さんの指名により、元代表取締役社長の芝尾昌宏様の乾杯のご発声で開宴となりました。



準備された5つのテーブルでは、アルコールと料理に興じながら、久しぶりの再会で、思いつき出話やら近況報告やら、和やかな語らいで場が盛り上がった頃合い、会場では恒例となった日本船舶通信時代、センツウ時代の懐かしい映像がスクリーンに投影され、参加者が身を乗り出して見入りながら、一段と話題に花が咲いたように歓談されていました。



司会から近況報告などをとということでスピーチの指名があり、何十年ぶりかで顔を合わせた和田さん、同窓の集い8回目にして初めて参加された平田さん等々、次々と壇上に登りスピーチが途絶えることなく時間は過ぎていきました。

こうしている間に、時間が流れて予定時間が迫り中締めとなりました。中締めは現在もドコモ



CSで衛星電話事業を担当している田村誠様が衛星電話事業の現状と将来展望等について報告があり、最後の乾杯により終宴となりました。



レポーター 濱田治さん

関西地区

神戸市 JR 三宮駅南側の「神戸国際会館維新琉監心茶屋神戸店」を会場として準備しました。

年毎に同窓の集い返信ハガキは減少傾向、今年は50名の方々に案内を送付して特別参加1名を含め15名にて開宴しました。



皆さんの自己紹介、退職後の模様は年相応でしょうか、病気に関する体験・投薬情報など体調に関する話題が



また、久々に参加の細川さんから、昭和29年会社創設時



から神戸港の岸壁電話サービスは18名が交換業

務を行なったこと等、懐かしい思い出が語られました。

一方、最年少参加者は平成2年に入社した足立さん、入社して暫らく当時新規業務のCE業務を行い、その後ドコモ中央研究開発部門勤務を経て転社、現在はドコモCS関西姫路にて携帯電話基地局故障等に対応するネットワー



ク部門に所属、転社以降の仕事のこと資格取得のチャレンジ話を聞いて、良く頑張っているとの声もでたり、当人の頑張から活力をもらう雰囲気を感じました。

レポーター 富田晶さん

九州地区

平成28年11月26日(土)九州支部・第9回センツウ同窓の集いが由緒ある門司倶楽部(重要文化財)で開催された。

今年は昨年より多くのエントリーがあり一段と賑やかな集いになると思っていたが次々と辞退者が続出、(本人、近親者の急病等)どこまで減少かと心配していたが恒例の集いに共感していただいている仲間が今年も各地から集った。

那覇から福さん、鹿児島から橋之口さん、広島から原田さん、山口さん、穴堀さん、河原さん、今年もよくきんさった、それに地元、北九州・福岡の有志を加え23名の出席を得て盛大に開催することができた。

まず開会にあたって、主催者を代表して金重九州支部長が挨拶し、社友会の存続について、本部で検討中である。継続が難しいのなら九州では

同窓の集いを受け皿にして継続したい。開催経費等は本部が年間2万円を拠出しているのですが若干経費の負担があるがみんなでもち寄ってセンツウの集いは継続したいと挨拶があった。この後、原田さんの乾杯で賑やかな開宴の運びとなった。

暫くは会食を楽しみ、ほどなくセンツウをよく知る女将より高級日本酒の差し入れがあり、これを特産のひれ酒して頂くことになった。香ばしいフグの香りが日本酒の味からんでとても美味であった。又毎回差し入れ王のエステート徳王の社長よりカレンダーの差し入れがあり枚数に制限があることから抽選で頂くことになった。



又、奥原氏より毎日新聞に度々投稿している谷矢さんの随筆の紹介があり、センツウ同窓の集いに出席はないが元気に暮らしている様子が垣間見えた。又同氏はNTTのOB記念誌に船舶電話の記事が掲載されていることなど貴重な資料を紹介された。続いて、今回目新しい企画が何かできないかいろいろ考えたが事情があつてなかなか出席できない方にビデオで登場できないか試行的にビデオレターなる企画を実行し上映した。

このビデオレターに登場願ったのは岸谷さん、岩本さん、谷矢さん、原口さんの4人。それぞれ現在の



生活状況についてお話しいただいた。岸谷さんは今、岡垣町で臨時職員で働き、家族4人(小6・高2)で子供に手がかり出席ができないとのこと。岩本さんは宇部で実家を継ぎ農業をしながら生活しているとのこと。谷矢さんは前記、毎日新聞の随筆を寄稿しながら夫婦で旅行を楽しみ、お金を使わない節約型老後を楽しんでいるとのこと。又自宅内外に航海、潜水具等古船具の収集を楽しみ、さらに自作の椅子、まきストーブ、かまど焚きご飯を珍重し

生活を満喫している様子が紹介された。又原口さんは88歳の米寿を迎えはなはだ元気であるが本人曰く、90歳近くになり人生の店じまいをしなくてはならないが出来ないでいる。膝が悪く長時間の散歩も困難、又腕力の衰えで単車を車庫に入れることさえ出来ず昨年廃車した等の様子がビデオで紹介された。

上映時間は約20分程度であるがもっと長く感じた。お酒も適度にまわり、いたるところにグループができ、雑踏の中で上映されたので、ビデオの音声もかき消されるほどであったが初回のビデオメッセージは大成功?ほどなく宴会も川崎さんの万歳三唱で幕を閉じ、二次会、女子会に流れて名残を惜しんだ一日だった。



レポーター 松崎繁行さん

28年度秋季ゴルフコンペ開催

富岡齋さん優勝

平成28年10月19日(水)クリアビューCCに於いて恒例の中央地区秋季ゴルフコンペが開催されました。ベストシーズン到来で絶好のゴルフ日和となり気持ちよくプレーすることができました。

今回は3組10名でのコンペとなりました。皆さん毎年1歳づつ齢を重ねているものの、全員元気よく熱戦が繰り広げられました。

そんな中で、今回久し振りに参加された富岡さん

が優勝、前回に続いてバスグロの園田さんが準優勝を獲得しました。

特筆すべきは、飛ばし屋と自他ともに認める黒田さんがドラコン4ホール全てでドラコン賞をさらっていったことです、恐れ入りました。

参加された方々と入賞された方は次の通りです。

「参加者(スタート順・敬称略)」

1組・・・富岡齋・阿部正一・山形剛士・黒田繁雄

2組・・・林 憲男・加藤恒男・濱田治

3組・・・足助正・菅原志郎・園田敏雄

「入賞された方(敬称略)」

| 順位 | 氏名 | グロス | ハンディ | ネット・その他 |
|----|------|-----|------|---------|
| 優勝 | 富岡 齋 | 91 | 20 | 71 |
| 二位 | 園田敏雄 | 85 | 12 | 73 BG |
| 三位 | 加藤恒男 | 103 | 23 | 80 |

「優勝された富岡齋さんの喜びの声」

社友会秋季コンペで3年振りの復帰で想定外の優勝の栄誉に浴しました。

久々に参加者皆さんの変わらぬお元気なプレイ姿に刺激され、そして3年間のブランク中のハンディキャップ改定の恩恵を受け優勝させて頂きました。

退職後歳も考えずにシングルハンディを目指し熱中してゴルフ三昧の生活がたり、頸椎の歪みや6本の肋骨の疲労骨折でドクターストップがかかり、更には左中指のバネ指症状で計3年3ヶ月の長期養生を余儀なくされ、今年3月からグリーンにカムバックできました。

来年は72歳の年男！「何事も無理せず！慌てず！」、ゴルフは「+狙わず！」の精神で、次回もまた皆さんとご一緒に楽しみたいと思っております。



レポーター 濱田治さん

私と運動

中央地区 法安忠美さん

私が、運動について考えるようになったの

は、名古屋営業所に転勤してからです。

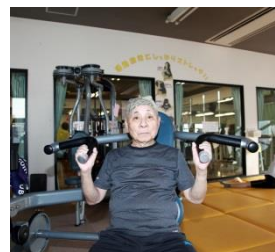
それまでの本社では、人事労務、総務(総務部の全て)を兼務しており、かなりの激務でしたから、それに比例して非正常的な生活環境となり、所謂成人病的な体質となっておりました。

大営業所と言っても現場ですから、頭も体も天地の差ほど、楽になり、戸惑う程でした。取り組みに余裕が持てるようになり、普通の市井の人間としての有り様にまで考えが及ぶまでに落ち着いてきました。

所長室の窓越しに微かに望める伊吹山や近隣の山系を眺めながら東京では考えもしなかった、否、考えようともしなかった大自然に、ふと、心が及びました。「あの自然の中では、さどかし空気が美味いだろうなー」よし、歩くぞ！ 早速、実行に移しました。

これが私の運動、そしてスポーツにのめり込む切っ掛けです。

神戸でも、本社に戻っても、引退してからも、歩き(含ハイキング)水泳、マシン(スポーツクラブで)何



でもござれです。

歩きは東海道を完歩したのが若干の自慢。只今は、水泳に飽き、マシン(陸上)を主力に楽しんでいます。

社友会からご恵与頂いたシャツ、パンツ、運

動靴の3点セットがその切っ掛になったかも知れませんよ。

有難うございました。厚くお礼申し上げます



* センツウ社友会第2回役員会開催 *

開催日： 平成 28 年 10 月 15 日 14:30～16:30

場 所： 島嶼会館 会議室

出席者： 9名(大場、菅原、崎山、松原、浜田、平野、鏡、中野、大和田の各役員)

1. 議題

- (1)「センツウ同窓の集い」の開催について
- (2) 社友会の今後の在り方について

2. 議事

- (1)「センツウ同窓の集い」の開催について

首都圏地区の「センツウ同窓の集い」については、今年度から会場が「メルパルク東京」に変更となったことに伴い、会費の金額を8000円とすることとし、了承された。

- (2) 社友会の今後の在り方について

事務局から事務局の案と本田会長の案についての説明があり、それを踏まえて議論した。

事務局案では「同窓の集いの組織化であり、これまで運営してきた同集いの趣旨に合わない」との反対意見があり、下記の理由から社友会を解散し、その後の運営について提案があった。

ア、解散の理由

- ・活動の行き詰まり
- ・総会参加者の減(会員参加は役員を除くと20名

程度で、年々減少傾向にある。

・会長・役員のなり手がなく、現行役員も高齢化し
在任期間は平均で8年を超えている。

イ、今後の運営

・解散後は社友会のイベントの一つである「センツウ同窓の集い」を今後も継続して開催し、世話役は現役員の中から選び、運営を依頼する。

・各地域で現在行われている同窓の集いの継続については各地域の判断に任せる。

以上の提案について概ねその方向を確認するも検討すべき事項(問題点の整理、時期等)及び各地域の意向等を踏まえる必要があるとの意見が出され、引き続き検討することとした。

お悔やみ

南塚満 様 平成 28 年 9 月
享年 83 歳

佐藤勝彦 様 平成 28 年 11 月
享年 81 歳

謹んでご冥福をお祈りいたします

** センツウ社友会ホームページ **

センツウ社友会HPのURLをご案内します。

会員のコミュニケーションの場としてご活用ください。

<http://sentu.c.ooco.jp/top.html>

(PWは不要です。直接アクセスしてください。)